

TAC DINE® を用いたアラミドシート施工方法

① 施工部位の特定

クラック等の補修部分を特定します。
以下にクラック補修を中心に説明します。



② Vカット

クラックの中心部から表面に向かって、“V字型”
に亀裂を広げます。



③ プライマー及びパテの充填

②のVカット部分にプライマー処理し、パテ材で充填整形します。



※プライマーは、溶剤タイプのPS-10G
と、無溶剤タイプのPE-10GⅡがありま
すが、浸透性が高いPS-10Gの方がより
効果が大きいです。
パテ材はBG-200Gを使用して下さい。



④ PE-10GⅡ 下塗り

施工面にアラミドシートを張付けるための下塗りをします。
下塗りは多少多めに塗るとシートが定着しやすいです。



⑤ アラミドシート貼り付け

下塗りが硬化しないうちにアラミドシートを貼り付けます。



⑥ アラミドシートの脱泡



※脱泡作業はアラミドシートを対象面に隙間なく固定するために行います。
気泡が存在するとその面の強度が落ちてしまいます。
専用の脱泡ローラー等がありますが、住宅などの狭小部位にアラミドシートを貼る場合は、薄手のゴム手袋等を用いて手で丁寧に押付けて定着・脱泡した方が効率が良いと思います。
アラミド繊維の隙間から、下地の樹脂が滲み出てきたら定着完了です。

⑦ PE-10GⅡ 上塗り

アラミドシートを塗布面に貼り付けた後、上塗りをします。



⑧ 完成



※アラミド繊維を始めとするいわゆる「スーパー繊維」は、構造物の補強はもとより様々な分野で、生活の多岐にわたり使用されています。
例えば航空機の軽量化にはなくてはならないものです。また防弾チョッキ、タイヤのインナーブレードとしても多く用いられています。
10センチ幅のアラミドシートで、およそ4tの引張り強度を持っています。
これはなんと鋼鉄の7～8倍の強度です。
コンクリートは圧縮強度はあるものの、引張りに弱いという特徴があります。
それを補うためにコンクリートには鉄筋を入れなければならないのです。
たった1枚の「スーパー繊維」が持っている可能性は大変大きな物があります。

